



### 「関わりのカタチ」 ～授業の様子から～

本分教室の特徴的な授業の一つに「体育的・音楽的」合同学習があります。週2時間、全員で行う学習で、本荘養護学校時代から継続して行われています。現在は、感染症予防対策により他病棟への出入りができないため、1階病棟の2名と2階病棟の2名が、各病棟内で同題材による活動をそれぞれ行っています。その互いの様子をタブレット端末により中継し、間接的ではありますが全員に関わり合えるようにしています。

「情動の伝播」という言葉があります。幼児の集団ではよく見られますが、誰かが笑うとみんなが笑い始めて楽しい雰囲気により醸され、逆に誰かが泣き出すと、つられるように泣く子どもが増えていく、という状況です。達成感や学びの充実感を味わう上で、合同の学習は大切な時間であると考えています。

#### 「ころころポンポンゲームをしよう」(体育的合同学習)

くす玉のようにぶら下げた箱にボールが入っています。紐を引っ張るとボールが落ち、点数の書いた枠の中に落ちたボールの合計点数で、勝敗を競います。

児童生徒が得意とする「引っ張る動き」を生かした活動です。過日、大盛り上がりの基、題材を終えました。「(自分で)引っ張る→事象が起きる→盛り上がる」状況を、繰り返しの活動の中で実感し、達成感を味わうことができました。

興味深かったことの一つに、Cさんの様子があります。『やったなあ!』と、自分のプレーに満足(自己評価)する様子の他、タブレット端末の画面に映る他病棟の友達の様子を見て旗を振ったり、タブレット端末を指さしたりしながら応援するシーンが幾度となく見られました。

このタブレット端末を指さす様子は、あたかも自分でスイッチを押そうとしているかのようにも見えました。これまでの経験を通して中継による関わり合いの状況を理解し、「会いたい」という思いをかなえるために操作しようとする姿からは、情報を主体的に活用しようとする力の萌芽を感じます。

コロナ禍において、学びを保障するために活用したICT機器により、新たな関わりの形を垣間見ることができています。



【ころころポンポンゲーム】



【応援するCさん】

※本ホームページ「過去のトピックス(7/10、2/7等)」や「ICTを活用した活動」に、ICT等を活用した学習の様子を載せています。併せて御覧いただければ幸いです。